

築港地区のにぎわいづくり

【取り組みの背景】

築港・天保山エリア（以下「エリア」という。）は、年間 200 万人以上の集客規模を誇る海遊館をはじめ、エリア内には、夕陽が美しい中央突堤ダイヤモンドポイント、海や港町の歴史を今に伝える天保山や港住吉神社、築港高野山、築港赤レンガ倉庫など、魅力的な観光スポットが点在しており、大阪を代表する観光集客地として、大阪都市魅力創造戦略の重点エリアに位置づけられている。

<エリアニュース>

① 天保山大観覧車リニューアル（4月8日リニューアル）

LED照明の間接光と直接光を組み合わせた世界初の光のアートで大輪の花火や巨大万華鏡などを演出

② レゴ®ランド・ディスカバリー・センター大阪（4月23日オープン）

天保山マーケットプレース内にオープンした数百万個のレゴ®ブロックやレゴライド、4Dシネマなど子どもの創造力を育み、エンターテインメントの世界を楽しめる屋内レゴ®プレイグランド

③ 築港赤レンガ倉庫（6月13日オープン）

大正、昭和の繁栄を今に伝えるレトロな佇まいを残しながら、カフェとステーキハウスを併設したクラシックカーミュージアム

④ クルーズ船

天保山岸壁には昨年以上のクルーズ船が来航（1月から12月まで23隻入港予定）

⑤ 中央突堤・2号上屋（もと港湾局倉庫）

夕陽の絶好のビューポイント。今後、民間事業者のアイデアや活力によりクラシックカー等を販売し、レストランやカフェ等を併設する施設として再生



① 天保山大観覧車リニューアル



② レゴ®ランド・ディスカバリー・センター大阪



③ 築港赤レンガ倉庫



④ クルーズ船



⑤ 中央突堤・2号上屋（もと港湾局倉庫）



夕陽のビューポイント

＜港区役所の取り組み＞

外航クルーズ客船の誘致や市保有施設の民間活力による活性化など、広域行政（成長戦略）の取り組みと連携し、地域のまちづくりの視点から住民・企業・商店会・市民活動団体・行政機関等と連携協働して、訪れたい魅力と活気あふれるまちづくりを推進し、地域経済の活性化をめざす。

【26年度】

築港・天保山魅力創造検討会設置・開催

- ・エリアの魅力発信のシンボルとなるキャッチとロゴマークの作成
- ・「大阪港の小さな宝島」ガイドブック作成（35000部）市内各所に設置
- ・「築港・天保山エリア回遊性向上のための案内・誘導計画」を策定

エリア魅力創造事業

- ・天保山まつりの実施（築港・天保山にぎわいまちづくり実行委員会）
- ・ウィンターイルミネーションの実施（花の海遊ロード美化協議会）



キャッチ・ロゴマーク



ガイドブック

【27年度】

築港・天保山エリア魅力パワーアップ事業（事業委託）

（共同体：（一財）大阪市コミュニティ協会・（一社）港まちづくり協議会大阪）

自主的に活動資金を確保しながら、まち魅力の創出、イベントの開催、情報発信等を持続的、自立的に推進することができる仕組みづくりをめざす。

＜事業内容＞

○築港・天保山魅力創造検討会（検討体制）の運営

○築港・天保山にぎわいまちづくり実行委員会（実施体制）の運営支援

- ・天保山まつり、菱垣廻船プロジェクト、ウィンターイルミネーション等の実施
- ・回遊性向上事業の実施（案内板整備など）
- ・情報発信（SNS、HP、情報冊子）の仕組み構築
- ・港まちファン倶楽部の設立運営
- ・公共空間を利用した財源確保（赤レンガ倉庫横広場活用事業：社会実験）
- ・地域資源を活用したクラウドファンディングやCBによる財源確保（社会実験）